

2015年度 後期			リフレクションペーパー				
学科名	生物環境化学科						
科目名	日本語表現法基礎Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目		単位数	1		開講時期	1年後期
必修・選択の別	必修						
担当者	藤本 晃嗣						
授業の到達目標 (シラバスから)	・日本語の特性を正しく理解できる。 ・敬語を理解し、正しく使い分けることができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・原稿用紙、符号などの使い方の基礎を学習し、正確な表現ができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。						
日程と内容	9/17 第1回：講義概要 9/24 第2回：文法4 2回目 10/1 第3回：語彙・言葉の意味1 1回目 10/8 第4回：語彙・言葉の意味1 2回目 10/15 第5回：語彙・言葉の意味2 1回目 10/22 第6回：語彙・言葉の意味2 2回目 10/29 第7回：語彙・言葉の意味3 1回目 11/12 第8回：語彙・言葉の意味3 2回目 11/19 第9回：語彙・言葉の意味4 1回目 11/26 第10回：漢字・表記1 1回目 12/3 第11回：漢字・表記1 2回目 12/10 第12回：漢字・表記2 1回目 12/17 第13回：日本語検定 模擬試験 1回目 12/25 第14回：日本語検定 模擬試験 2回目 1/14 第15回：定期試験 1/21 第16回：まとめ・復習						
成績評価基準	臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	50%	実技 部外評価 プレゼンテーション	100%			
授業到達目標の達成度	間違えやすい漢字や表記について、それがなぜ誤りであるのかという点についての考え方を理解できたと考えています。今後の学生生活や社会としての活動において必要な日本語表現力の基礎を多くの学生が身につけたと思います。						
反省点	学生の多くが集中力、理解力ともに高かったため、テキスト以外の内容も行えました。						
来年度の計画	テキストの内容に加え、応用力のつく課題をあたえることができた。今後も継続すべきと思いました。						
授業評価アンケートに対するコメント	やや、関心の項目が低いので、より学生の関心を引きつける講義を目指していきたいと思っています。						
履修登録者数	66 名	定期試験 受験者数	65 名	合格者数	63 名	合格率	97%